



新規情報および変更情報

この章では、『Cisco Nexus 7000 シリーズNX-OS セキュリティ コマンド リファレンス リリース 5.x』の新機能および変更された機能のリリース固有の情報について説明しています。このマニュアルの最新バージョンは、次の Web サイトから入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9402/prod_command_reference_list.html

Cisco NX-OS Release 5.x に関する追加情報を確認するには、『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Release Notes, Release 5.x』を参照してください。これは次の Web サイトから入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9402/tsd_products_support_series_home.html

次の表に、『Cisco Nexus 7000 シリーズNX-OS セキュリティ コマンド リファレンス リリース 5.x』の新機能および変更された機能の要約と参照先を示します。

表 1 リリース 5.x の新規情報および変更情報

機能	変更内容	対象リリース	参照先
AAA アカウンティング	現在の VDC のログフラッシュに保存されているアカウンティング ログをクリアするため、次のコマンドに logflash キーワードが追加されました。 <ul style="list-style-type: none">• clear accounting log	5.0(2)	「C コマンド」
AAA 認証	リモート認証が設定されており、すべての AAA サーバが到達不能である場合、コンソールまたはデフォルト ログインのローカル認証へのフォールバックをサポートするため、 fallback error local キーワードが追加されました。 <ul style="list-style-type: none">• aaa authentication login console• aaa authentication login default	5.0(2)	「A コマンド」

表 1 リリース 5.x の新規情報および変更情報 (続き)

機能	変更内容	対象リリース	参照先
AAA 認可	<p>次のコマンドの none キーワードが廃止されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> aaa authorization commands default aaa authorization config-commands default <p>TACACS+ サーバまたは LDAP サーバのデフォルト AAA 認可方式を設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> aaa authorization ssh-certificate default <p>LDAP サーバのデフォルト AAA 認可方式として、SSH 公開鍵を使用した LDAP 認可またはローカル認可を設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> aaa authorization ssh-publickey default 	5.0(2)	「A コマンド」
CHAP 認証	<p>CHAP 認証をサポートするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> aaa authentication login chap enable show aaa authentication login 	5.0(2)	「A コマンド」 、 「show コマンド」
DHCP スヌーピング	<p>Virtual Routing and Forwarding (VRF) をサポートするため、次のコマンドが追加または変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ip dhcp relay address ip dhcp relay information option vpn show dhcp relay address show ip dhcp relay <p>DHCP で、link selection (リンク選択)、server ID override (サーバ ID 上書き)、VRF name/VPN ID (VRF 名/VPN ID) リレー エージェント option-82 サブオプションに、Cisco 専用の番号 150、152、および 151 を使用できるようにするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ip dhcp relay sub-option type cisco <p>DHCP スヌーピングをサポートするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ip dhcp packet strict-validation 	5.0(2)	「I コマンド」 、 「show コマンド」

表 1 リリース 5.x の新規情報および変更情報 (続き)

機能	変更内容	対象リリース	参照先
LDAP 認証	<p>LDAP サーバグループをサポートするため、次のコマンドが変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • aaa authentication login console • aaa authentication login default <p>LDAP サーバグループの作成をサポートするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • aaa group server ldap <p>LDAP 認証でバインド (bind) 方式または比較 (compare) 方式を使用するように設定するため、次のコマンドが追加されました</p> <ul style="list-style-type: none"> • authentication {bind-first [append-with-baseDN <i>DNstring</i>] compare [password-attribute <i>password</i>]} <p>LDAP サーバ統計情報をクリアするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • clear ldap-server statistics <p>LDAP サーバへの検索クエリーの送信をサポートするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CRLLookup <p>LDAP ユーザのユーザ プロファイルに、ログインが認可されているものとして、ユーザ証明書のサブジェクト DN が一覧表示されている場合のみ、そのユーザがログインできるようにするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • enable Cert-DN-match <p>LDAP サーバグループのグループ検証をイネーブルにするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • enable user-server-group <p>LDAP をイネーブルにするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • feature ldap <p>すべての LDAP サーバのデッド タイム間隔を設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ldap-server deadtime <p>LDAP サーバ ホスト パラメータを設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ldap-server host <p>クライアントが TCP 接続を開始するために使用するグローバル LDAP サーバ ポートを設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ldap-server port 	5.0(2)	<p>「A コマンド」、「C コマンド」、「E コマンド」、「F コマンド」、「L コマンド」</p>

表 1 リリース 5.x の新規情報および変更情報 (続き)

機能	変更内容	対象リリース	参照先
LDAP (続き)	<p>LDAP サーバのグローバル タイムアウト間隔を設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ldap-server timeout <p>LDAP 検索マップを設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ldap search-map <p>LDAP サーバグループのサポートを追加するため、次のコマンドが変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • server <p>設定された LDAP アトリビュート マップに関する情報を表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show ldap-search-map <p>LDAP サーバ設定を表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show ldap-server <p>LDAP サーバグループ設定を表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show ldap-server groups <p>LDAP サーバ統計情報を表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show ldap-server statistics <p>実行コンフィギュレーションの LDAP サーバ情報を表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show running-config ldap <p>スタートアップ コンフィギュレーションの LDAP サーバ情報を表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show startup-config ldap <p>検索クエリーを LDAP サーバに送信するために、信頼される証明書を設定する、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • trustedCert attribute-name <p>LDAP サーバグループのサポートを追加するため、次のコマンドが変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • use-vrf <p>検索クエリーを LDAP サーバに送信するために、証明書 DN 一致を設定する、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • user-certdn-match attribute-name 	5.0(2)	<p>「L コマンド」、「S コマンド」、「show コマンド」、「T コマンド」、「U コマンド」</p>

表 1 リリース 5.x の新規情報および変更情報 (続き)

機能	変更内容	対象リリース	参照先
LDAP (続き)	<p>検索クエリーを LDAP サーバに送信するために、公開鍵一致を設定する、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • user-pubkey-match attribute-name <p>検索クエリーを LDAP サーバに送信するために、ユーザスイッチグループを設定する、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • user-switch-bind attribute-name <p>検索クエリーを LDAP サーバに送信するために、ユーザ プロファイルを設定する、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • userprofile attribute-name 	5.0(2)	「U コマンド」
PKI	<p>証明書認証に使用する証明書ストアを指定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • crypto ca lookup {local remote both} <p>リモート証明書ストアから証明書失効リストを更新するリフレッシュ時間を設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • crypto ca remote ldap crl-refresh-time <p>LDAP サーバ グループを設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • crypto ca remote ldap server-group <p>フィルタ マップの作成をサポートするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • crypto certificatemap mapname <p>SSH プロトコルの証明書マッピング フィルタを設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • crypto cert ssh-authorize <p>フィルタ マップ内に証明書マッピング フィルタを設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • filter <p>証明書ストア設定を表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show crypto ca certstore <p>リモート証明書ストア設定を表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show crypto ca remote-certstore 	5.0(2)	「C コマンド」、「F コマンド」、「show コマンド」

表 1 リリース 5.x の新規情報および変更情報 (続き)

機能	変更内容	対象リリース	参照先
PKI (続き)	<p>証明書マッピング フィルタを表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show crypto certificatemap <p>SSH 認証用に設定されたマッピング フィルタを表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show crypto ssh-auth-map 	5.0(2)	「show コマンド」
RADIUS	<p>RADIUS サーバごとに個別にテスト パラメータを設定する必要なく、すべてのサーバの可用性をモニタするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • radius-server test 	5.0(2)	「R コマンド」
レート制限	<p>レイヤ 2 トンネル プロトコル (L2TP) パケットのレート制限統計情報をクリアするため、次のコマンドに l2pt キーワードが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • clear hardware rate-limiter <p>L2TP パケットのレート制限を設定するため、次のコマンドに l2pt キーワードが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • hardware rate-limiter <p>L2TP パケットのレート制限統計情報を表示するため、次のコマンドに l2pt キーワードが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show rate-limiter 	5.0(2)	「C コマンド」、「H コマンド」、「show コマンド」
RBACL	<p>RBACL 統計情報をクリアするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • clear cts role-based counters <p>RBACL 統計情報をイネーブルにするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • cts role-based counters enable <p>RBACL ログのサポートのため、次のコマンドに log キーワードが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • deny • permit <p>RBACL 統計情報の設定ステータスを表示し、すべての RBACL ポリシーの統計情報を一覧表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show cts role-based counters 	5.0(2)	「C コマンド」、「D コマンド」、「P コマンド」、「show コマンド」

表 1 リリース 5.x の新規情報および変更情報 (続き)

機能	変更内容	対象リリース	参照先
SSH	<p>ユーザが SSH セッションにログインを試みることができる最大回数を設定するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ssh login-attempts <p>指定したユーザの公開鍵を表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show username <i>username</i> keypair 	5.0(2)	「S コマンド」、 「show コマンド」
TACACS+	<p>ユーザがシークレット パスワードの入力を求められた後に、高い権限レベルに移行できるようにするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • enable level <p>特定の権限レベルのシークレット パスワードをイネーブルにするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • enable secret <p>TACACS+ サーバでコマンド認可にロールの累積権限をイネーブルにするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • feature privilege <p>ユーザ ロールまたは権限ロールを作成または変更する場合に、権限レベルを指定するため、次のコマンドに priv-n キーワードが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • role name <p>現在の権限レベル、ユーザ名、および累積権限サポートのステータスを表示するため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show privilege <p>TACACS+ サーバごとに個別にテスト パラメータを設定する必要なく、すべてのサーバの可用性をモニタするため、次のコマンドが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • tacacs-server test <p>Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) でユーザ アカウントを作成する場合に使用するため、次のコマンドに keypair および priv-lvl キーワードが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • username <i>user-id</i> 	5.0(2)	「E コマンド」、 「F コマンド」 、 「R コマンド」 、 「show コマンド」 、 「T コマンド」 、 「U コマンド」

